

2017国民春闘 スタート

げ、雇用の安定を

1・19怒りの労働者総行動

大阪労連・春闘共闘は1月19日、2017春闘第1次統一行動「1・19怒りの労働者総行動」をのべ500名の参加で取り組み、街頭宣伝や12団体への要請行動、府庁周辺パレード、大阪労働局長への個人請願など展開しました。関西経済同友会と大阪商工会議所に「すべての労働者の賃金底上げと雇用の安定、中小企

関西経済同友会

「低迷する大阪経済を活性化させなければ」

有田委員長が参加

「大企業の内部留保を活用して賃上げによる生活改善が急務」「非正規の正規化や均等待遇の実現を」

担当者は「低迷する大阪経済を活性化させなければいけない」との認識は共有しつつも「企業経営の視点で経済政策提言をしており、労働組合とはアプローチの仕方が違う」



関西経済同友会で懇談

大阪商工会議所

「非正規の正規化は大切」「安全で住みやすい大阪に」

竹中副委員長が参加

賃上げ要求に対して「経済の活性化は必要という点で理解はできる」「大阪商工会議所は9割が中小企業で、経営の厳しい企業に対してはなかなか言えず、施策の紹介にとまどっている」「非正規の正規化は大切なことだと認識し、新卒者を中心に大阪府ジョブカフェ事業を受託するなど取り組んでいる」との考え方が示されました。

「賃上げが個人消費につながり経済波及することは否定しないが、各企業の業績等をふまえた賃金決定が基本であり、同友会が言える立場ではない」との消極的な態度に終始しました。府職労は「同友会は大阪府と市が推進するIR（統合）と強く求めました。」

府職労は「大阪府の異常な人員削減によって、職員や教員、警察官をはじめ大阪から人が逃げる」事相談に乗っていたとき、公私ともに今後の自信になりました。今後もできる限り行事に参加し、今回お話できなかった方々ともお話ししたいと思っています。よろしくお願いたします。

学んで話して元気になった

2017国民春闘 学習と交流のつどい



ともに、安易な民営化を行わず、常に市民と職員の声を大切に、公務が責任を持った行政を進められている取り組みの紹介がありました。質疑・応答でもたくさんの質問があり、私たちの仕事のあり方を見直し考えることのできるものと

みについて議論しました。今回の「つどい」には、青年・若手組合員もたくさん参加し、青年部役員を中心に自らの運営で分散会も進めました。分散会に参加した青年からは「職場では意見が言えなかったり、言っても否定されたりするが、



分たがが普段行なっている業務を後押ししてもらったように感じ、励まされました。分散会では同世代と自身の職場環境等について意見交換し、普段なかなか接することのない職種の方の話や公務労働のあり方について

組合員限定 映画観賞券のごあんない

感動と涙にはもう飽きた皆さんへ…

家族はつらいよ2 山田洋次 監督作品

日本全国を大爆笑に包んだあの「お騒がせ家族」が帰ってくる!! 山田洋次監督による喜劇映画の決定版、待望の続編。 熟年離婚の危機を乗り越えた平田家を襲う新たな大事件とは!?

(一般前売価格 1100円)

➔ **組合員特別価格 900円**

希望の方は必要枚数(組合員1人につき5枚まで)を府職労本部、もしくはお近くの府職労役員まで 取扱期間 5月26日(金)まで

大阪の福祉医療、いまこそ拡充を!

2・19 府民大集会

日時 2月19日(日) 午前10時~12時 (開場9:40)

場所 阿倍野区民センター 大ホール

地下鉄谷町線「阿倍野」駅⑥号出口南へ100m

記念講演

カジノより福祉に!
住民投票から始まった市民共闘のこれから

講師 富田 宏治氏 (関西学院大学教授)

▶▶集会後、天王寺での宣伝にもご参加ください!
主催: 福祉医療の拡充を求める大阪実行委員会

すべての労働者の大幅賃上げ

甘い言葉で狙われる 危険な「働き方改革」



2月3日～4日、府職労「2017国民春闘学習」と交流のついでに、府職労と交流のついでに、77名が参加しました。女性の参加は36%、40歳以下の参加は22%でした。

1日目は全労連の雇用・労働法制局長の伊藤圭一さんを講師に招き「安倍『働き方改革』と2017春闘情勢」をテーマにお話しいただきました。

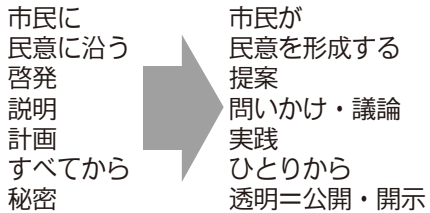
「長時間労働の慣行を断ち切る」「非正規」という言葉をこの国からなくすなど、耳あたりの良い安倍首相の言葉ばかりがマスコミで報道されていますが、その実態は、労働基準法の労働時間という概念をなくし、どんなに働いても残業代を払わなくて良い仕組みづくりや正社員をなくすこととで「正規・非正規」の区分をなくすなど、労働者を企業にとって都合よく働かせるための「働かせ方改革」であることを学びました。政府・財界一体となったこの恐ろしい計画をより多くの労働者に知らせる大切さを感じることができました。

2日目は滋賀県野洲市長の山仲善彰さんを講師に招き「公共サービスと公務労働のあり方」について、野洲市での実践を交えてお話しいただきました。議員優先ではなく、すべての市民に情報を伝えるなど、情報公開と透明性を徹底すると

野洲市の取り組み例

- 文化スポーツ振興事業団の解散と施設の市直営化、団体職員を市の正規職員として採用
- 市立保育園を独自制度のこども園化、保育士(教諭)の新規採用
- 市営学童保育所の倍増
- 民間病院を市民病院化
- コミュニティ・バスの直営化
- 市立図書館司書の増員
- 地域包括支援の直営
- まちづくり情報の提供と公開(透明性)
- 市民生活相談と生活困窮者自立支援
- 市債権の一元管理と生活支援
- 発達支援と特別支援教育

まちづくりのフォーラムの転換



参加者の感想

今後の自信につながった

土建支部 北井 誠

労働組合の行事に参加するのは今回が初めてでしたが、予想していた以上に濃い内容で、たいへん満足しています。タイトルのとおり、とても良い学習・交流をさせていただけだと思っ

ています。私自身、入庁を機に公務員を取り巻く情勢を学ぶ必要性を感じていました。今回の講演と分断会は非常にためになり

考えることのできるものとなりました。

講演のあとは、6つの分散会で議論し、講演の感想を出し合い、春闘の取り組み

でも否定されたりするが、参加して自分の意見が言えることが素晴らしいと実感した」との声も出されています。

自分たちに何ができるのか、知識を得たい

総務農林支部 福田 匠

中身の濃い充実した2日間だったと感じます。全労連雇用・労働法制局長の伊藤先生からは「アベノミクス下の賃金、労働環境の情勢、安倍『働き方改革』の多様な見方について学び、

詳細まではわからないまでも、このままいくと労働法が適用されない等の危険な状況を招くかもしれないという危機感を覚えました。

また、滋賀県野洲市の山仲市長からは、全国でも稀である官主体のまちづくりの事例を紹介いただき、自

分たたちに何が知識を得たい

私は最近結婚し、賃金や労働環境について今まで以上に考えることが多くなったように感じます。伊藤先生の言われる厳しい状況の中自分たちに何ができるのか、今回のような勉強会に参加して知識を得たいと思います。

他の人にも広げてほしい

保健所支部 彼塚 陽子

普段なかなか考えたり聞いたりすることがない内容でもとも勉強になりました。毎日、目の前の仕事に追われていて、働き方や労

や公務労働のあり方についてのお話もあり、私たちの仕事は府民のために何ができるかを考える仕事であるため、公共サービス等がどのように整備されているか、どのように計画されているかを知るだけで、これから仕事をする上でとても参考になりました。

また、働き方の未来2035年の中身について初めて知り、厚生労働省が20年後の日本の労働者は正社員が消えていると言っていることにも驚きました。

今回の学習交流会に参加し、このような活動はとても大事だと思えますし、他の人にも広げてほしいと思います。

仕事と家庭の両立ができる職場をつくろう

連載 母性保護を考える ④

卵子の一生

妊娠には「適齢期」があることをご存知ですか？
今回は、「卵子」の話をしたいと思います。

減り続け 老化していく卵子

卵子は、お母さんのおなかの中にいるとき(胎生期)から女の赤ちゃんのおなかの卵巣にすでにできています。生まれる前には700万個の卵子があるとい

われていますが、成長するにつれて数が減っていきま

す。この世に誕生した時に

はすでに200万個にまで減少しています。卵子はその後も減り続け、出生後に新しくつくられることはありません。

いつまでも健康で働ける職場を！ ～まずは生理休暇から～



た、卵子は胎生期につくられるので、歳をとると老化していきます。この卵子の数の減少と質の低下が受精能力や受精後の発育能力(妊娠する力)に影響を与えます。20代から30代前半が妊娠しやすい時期といえます。

次回「女性ホルモンと月経」を予定しています。

男性にもある 妊娠適齢期

男性の場合も同様に、加

(府職労女性部 母性保護講師団)